

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成19年8月23日

作成者：(特非)九州バイオマスフォーラム

	【施設名称】 おおき循環センター
	【事業主体】 大木町
	【所在地】 福岡県三潴郡大木町大字横溝1331-1
	【運転開始年】 平成18年
原材料および利用量	生ごみ、し尿、浄化槽汚泥、食用廃油
生産物（種類）	電気、熱、メタン発酵消化液、BDF燃料
利用方法	電気、熱、BDF燃料は、施設内利用 メタン発酵消化液は町内の圃場で液体肥料として利用
導入目的・経緯	ごみ処理やし尿等の海洋投棄による財政圧迫・環境破壊に歯止めをかけるため、ごみ処理から資源循環への転換を図る目的で導入。
設備仕様	メタン発酵設備（中温湿式） （生ゴミ：3.8t/日、し尿：7.0t/日、浄化槽汚泥 30.6t/日） バイオディーゼル燃料製造装置
稼働状況	8h/日、6日/週、年末年始4日間休業
経済性関連データ	初期投資額：約5.2億円（国庫補助：50%、町費：50%）
導入効果	焼却ごみの減少：前年比約60% ごみ処理費の減少見込み：約9千万円
運営上の課題	生ごみ分別やメタン発酵消化液の利用に対する住民の理解と協力が不可欠。
備考・参考資料	